

環境省における施策について

環 境 省

現代のライフスタイルにあった温泉地の活用促進【環境省】

- 【現状・課題】チーム新・湯治における多様なネットワークを通じた連携強化や、「新・湯治」による療養効果の把握を通じた温泉地の更なる活性化のためには、各温泉地それぞれの強みを活かした、地域関係者の自主的かつ継続的な取組が必要。
- 【今後の取組】チーム新・湯治における自主的な取組を促進するため、チーム員への情報共有や、チーム員相互の情報交換を行うことができる機会の提供、先進的なコンテンツを創出するチーム員への支援の実施、温泉地の滞在効果に関する調査・情報発信等を行う。

新・湯治とは

エビデンスも重視！

- ・ 温泉入浴に加えて、周辺の自然、歴史・文化、食などを活かした多様なプログラムを楽しみ、地域の人や他の訪問者とふれあい、心身ともに元気になること
- ・ 年代、国籍を問わず楽しめる
- ・ 長期滞在を行うことが効果的

【チーム新・湯治の活動展開】

- ・ 「新・湯治」の考えを共有する地域、自治体、団体等を「チーム新・湯治」としてネットワークでつなぎ、年1回のチーム新・湯治全国大会やセミナー（令和6年度：計3回）の開催、メールマガジンやNEWS LETTER等の発信を通じ、チーム員への情報共有や、チーム員相互の情報交換を行うことができる機会を提供。
- ・ 温泉地での先進的な滞在コンテンツ創出のため、チーム員への支援を実施（2件）。
- ・ 令和7年度においても引き続き上記取り組みを実施予定。



セミナーの様子



NEWS LETTER

【「新・湯治」の効果を検証・発信】

- ・ 環境省が作成する統一フォーマット（調査票）を活用して、全国の温泉地において温泉入浴やアクティビティによる効果を把握し発信。
- ・ 「温泉地滞在前後は心身に良い変化がある」、「温泉入浴だけでなく、温泉地で何らかのアクティビティを行うことで、より心身への良い影響がある」、「長期間の温泉地滞在ではなくても、年間を通して高頻度で温泉を訪れることで、心身への良い影響がある」といった結果が得られた。
- ・ 令和7年度においても、「新・湯治」の効果の検証・発信するための事業を実施予定。

○温泉地訪問の主観的な感想（複数回答）

